

作物の種類		りんご	483	1次必須項目											
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
1	枝条の色	10枝	観察		緑	灰	褐	赤褐							休眠中の1年枝で生育中庸なもの中央部
2	葉身の大きさ	15葉	測定	平方cm (小数第1位を四捨五入)									8月に生育中庸な発育枝5本について、第4～6位葉、計15枚の葉身長(L)及び葉幅長(B)を測定し、葉面積の近似値を $\pi LB/4$ で表す		
3	葉身の形	15葉	測定	* (小数第1位を四捨五入)									葉幅長(B)に対する葉身長(L)の比(L/B)×100で表す		
4	葉縁の鋸歯	15葉	観察	全緑	鈍鋸歯	鋭鋸歯	複鋸歯								葉身の中央部の鋸歯で判定、調査葉は1次必須の2に同じ
5	成葉の毛茸	15葉	観察	無			少		中		多			調査葉は1次必須の2に同じ	
6	托葉の形	15葉	観察		円	中間	長円	鎌形						調査葉は1次必須の2に同じ	
7	花の大きさ	10花	測定	mm (小数第1位を四捨五入)									正常な中心花10花の開いた時の最大直径から判定		
8	果実の大きさ	10果	測定	g (小数第1位を四捨五入)									成熟した10個の健全果の平均果重		
9	果実の形	10果	観察		円	円錐	扁円	扁円錐	長円	長円錐				調査果は1次必須の8に同じ	
10	果実の色	10果	観察		赤	紫紅	黄	緑						調査果は1次必須の8に同じ	

作物の種類		りんご	483	1次選択項目											
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	欠刻の有無	15葉	観察	無										有	8月に生育中庸な発育枝5本について、第4～6位葉、計15枚
2	葉柄比	15葉	測定	* (小数第1位を四捨五入)										葉身長(L)に対する葉柄長(P)の比(P/L)×100で表す	

作物の種類		りんご		483		2次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
1	発芽期	2樹	測定	年月日									頂芽の先が割れ葉先の青味の現われたものが1樹で3個以上みられた日		
2	満開期	2樹	測定	年月日									頂花芽の70~80%が開花した日		
3	成熟期	2樹	測定	年月日									品種本来の味がでた果実が最も多く収穫された日		
4	果実のさびの量	10果	観察	無	極少		少		中		多		極多	さびが発生している面積とその密度を総合したもの	
5	斑点落葉病抵抗性	2樹	観察		抵抗性		低感受性		中感受性		高感受性			発生葉（果）率，程度等により総合的に判定する	
6	赤星病抵抗性	2樹	観察		抵抗性		低感受性		中感受性		高感受性			発生葉（果）率，程度等により総合的に判定する	
7	黒星病抵抗性	2樹	観察		抵抗性		低感受性		中感受性		高感受性			発生葉（果）率，程度等により総合的に判定する	
8	あぶら虫抵抗性	2樹	観察		抵抗性		低感受性		中感受性		高感受性			枝梢への寄生，被害度により総合的に判定する	
9	生理落果（早期）	2樹	観察	無			少		中		多			6月中にみられる2~4週間にわたる幼果の落果（ジューンドロップ）	
10	後期落果	2樹	観察	無			少		中		多			収穫前落果などで，収穫前1ヵ月頃から収穫期にかけての落果	
11	ビターピット	2樹	観察	無			少		中		多			発生果率，程度等により総合的に評価する。調査果数は可能な限り多くする	
12	ゴム病	10果	観察	無			少		中		多			発生果率，程度等により総合的に評価する。調査果数は可能な限り多くする	
13	コルクスポット	2樹	観察	無			少		中		多			発生果率，程度等により総合的に評価する。調査果数は可能な限り多くする	

作物の種類		りんご		483		2次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
1	樹姿	2樹	観察		極直立性		直立性		開張性		下垂性			樹全体の横からみた形状、総樹高、総開張の比率の大小と枝の伸張、方向習性から判定	
2	樹勢	2樹	観察				弱		中		強			環境の影響を受け易いので遺伝的と明白に判断されるもののみ記入	
3	短果枝の着生	2樹	観察				少		中		多			2年枝上の短果枝の着生、前年枝（2年枝）に着生する短果枝の多少を樹全体の観察によって判定する	
4	花粉の有無	10花	観察	無									有	自然開花期の観察による	
5	果実の玉ぞろい	10果	観察				不良		中		良			大きさと果形の整一度	
6	果皮の地色	10果	観察		黄	黄緑	緑							果皮表面の素地の色	
7	果皮のさびの位置	10果	観察		がくあ	こうあ	側面	全面						さびが発生している果面上の位置	
8	さび状果点	10果	観察	無									有	隆起したさび状の果実、果面中央部の観察による	
9	果粉の有無	10果	観察	無									有	果皮の表面についている白い粉状物の有無	
10	果肉の色	5果	観察		白	黄	緑白							切った直後の果肉の色	
11	うどんこ病抵抗性	2樹	観察		抵抗性		低感受性		中感受性		高感受性			発生葉（果）率、程度等により総合的に判定する	
12	黒点病抵抗性	2樹	観察		抵抗性		低感受性		中感受性		高感受性			発生葉（果）率、程度等により総合的に判定する	
13	粗皮病抵抗性	2樹	観察		抵抗性		低感受性		中感受性		高感受性			枝梢の粗皮症状の発生程度を総合的に判定する	
14	リンゴワタムシ抵抗性	2樹	観察		抵抗性		低感受性		中感受性		高感受性			枝梢への寄生、被害度により総合的に判定する	

作物の種類		りんご	483	3次必須項目										
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	果肉硬度	10果	測定	lb (小数第2位を四捨五入)										マグネステラー式硬度計 (7/16インチプランジャー使用) により陽光面、非陽光面の2カ所を測定する。各個所とも直径1.0cm程度の果皮を切り取った後測定する
2	果汁の糖度	10果	測定	% (小数第2位を四捨五入)										10果の果汁をとりろ紙でろ過し屈折糖度計で測定する
3	果汁の酸度	10果	測定	g/100ml (小数第4位を四捨五入)										10果の果汁より5mlをとり50mlにフィルアップ 1/10N NaOHで滴定し、リンゴ酸量(M.A.)に換算する M.A. g/100ml = 0.134fx (f:factor,x:滴定量)
4	果肉のきめ	5果	官能検査				密		中		粗			果実を食べた時の舌ざわり、官能 (そしゃく) による
5	果汁の多少	5果	官能検査				少		中		多			そしゃくした時に口中で感知する果汁の多少
6	蜜入り	5果	観察	無			少		中		多			成熟期近くに果肉が水浸状になり、あたかも蜜が入ったような観を呈するものの程度
7	粉質化	5果	官能検査				易		中		難			果実の粉質化 (ボケ) の難易
8	脂質化	10果	観察				易		中		難			収穫前から貯蔵中に発生する果表面の脂状のワックスの発生の難易
9	貯蔵期間 (室温)	20果	その他	日 (小数第1位を四捨五入)										収穫期より食用可能な限界までの期間、普通貯蔵 (常温) で棚持ちを含めて調査する。観察及び官能検査、硬度計による測定を総合して評価する
10	収量	2樹	測定	kg/樹 (小数第2位を四捨五入)										盛果期における1樹当たりの収量

作物の種類		りんご	483	3次選択項目										
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	渋味	5果	官能検査	無			少		中		多			そしゃくした時に口中で感知する渋味の多少
2	香気	5果	官能検査				少		中		多			そしゃくした時に口中で感知する香り
3	心かびの発生	10果	観察	無			少		中		多			フザリウム、アルタナリアその他の菌によって生じる果心部のかび及び腐敗
4	貯蔵期間（冷蔵）	20果	測定	日（小数第1位を四捨五入）										冷蔵（2～5℃）にした場合の食用可能な限界までの期間。評価は普通貯蔵に準ずる
5	ヤケの発生	10果	観察	無			少		中		多			発生果率、程度等により総合的に評価する。調査果数は可能な限り多くする